

# 「台風第9号災害検証報告書」 (佐用町検証委員会、委員長:室崎先生)

- ◎ 地域の情報を収集する住民による「災害モニター(仮称)」の設置などを検討する必要がある。
- ◎ 合併によって広がった町域の各地域の状況を、町が単独で把握することは困難であることから、災害時の各地域の状況を地域の住民が報告する「**災害モニター(仮称)**」を設置するなど、きめ細かな地域の情報を収集できるシステムの構築を検討する必要がある。
- ◎ また、各地域対策部で災害モニターからの情報収集を行い、各地域対策部から専用回線などを利用して災害対策本部に情報を伝え集約するなど、被害の把握や対応方針の決定に結びつける仕組みづくりが必要である。

17

# マップづくりと高地移転 (高知県四万十町)

18

## 高知県四万十町立興津小学校 「ぐるみ」のこころみ

- 小学校の防災教育 地域「ぐるみ」のまち再発見



19





## 興津：「ぐるみ」のとりくみ(1)

- 「行政のやることだ!」、「自衛隊が助けに来てくれる」、「死んでもいい」、「地域で汗をかこう」、「死んだら迷惑ぜよ」、「俺らの代で」
- 「孤立」ではなく、「自立」と「独立」。
- 漁業の「浦分」(382人)と、「小室」(329人)、農業の「郷分」(405人)。あまり仲良くなかった  
「これだけ集まると気持ちいい」、「興津って力がある」
- 子どもたちの防災マップづくり(「防災マップ」コンテスト)  
小袖岩橋の修理、津波避難路の整備、保育園とデイセンターの高地移転など、子どもの指摘が、大人(町)を動かした。(大人が応えた。)

22

## 興津：「ぐるみ」のとりくみ(2)

- 高知県「あそぼうさい」:担架作り、包帯づくりなどを運動会の競技に。親たちに波及。
- 海拔のシール貼り。測量は専門家、シール調達は自治体、周囲も動き出した。
- 集落をまとめるための炊き出しをした。まとめることに意味(400人越え)、電気、ガス使わず薪で。塩づくりの大釜利用。
- 薪割りの方法を林業関係者に、ロープ結びを漁業関係者に(そんなら、おれらも協力する)。
- 唯一の道路寸断のときに、以前の古い峠路を、「子どもたちと歩いてみようと思う」。

23

## 「満点計画」

(京都府京丹波町、鳥取県日野町)

24